



2019年12月17日

日本鉄道労働組合連合会

## J R グループ 労組連絡会「第 17 回分科会プロジェクト」 2020 春闘に臨む基本的態度を意思統一

J R グループ 労組連絡会は 12 月 12 日、大  
阪市で「第 17 回分科会プロジェクト（以下 P  
T）」を開催し、幹事会とグループ 93 単組の  
代表者、エリア連合担当者など総勢 110 人が  
出席した。

P T では、加盟全単組が、グループ会社にお  
ける離職者の増加とそれによる人出不足の常  
態化に危機感を強く持ち、2020 春闘では、



離職の原因と対策をあらゆる観点から追求し、J R グループで働くすべての仲間が退職  
まで安心して働き続けることのできる就労環境を実現していくため、奮闘することを意  
思統一した。また、J R 連合と加盟全単組が目指す運動の理念と方向性について意見交  
換を行い、共有を図った。

幹事会を代表して八木大星代表幹事（J R 西日本連合・NE S C O 労組委員長）は挨拶  
で、2020 春闘について、「中期労働政策ビジョン（2019～2023）」で設定した各種目  
標の達成に取り組むことを基軸としつつも、中小企業への本格施行が目前に迫っている  
改正労働基準法や、同一労働同一賃金の法整備にむけた会社の対応が遅れていることを  
指摘し、分科会別意見交換会を通じて各単組の取り組みを共有化し、今後の取り組みに  
活かしていくことを要請した。また、未だに労働組合に加入していない未組織労働者が  
多数存在している状況を踏まえ、「J R 産業における民主的な労働組合と健全な労使関係  
の必要性を、2020 春闘を通じて内外に訴えていこう」と呼びかけた。

J R 連合及び J R グループ 労組連絡会は、P T での議論経過等を踏まえ、今後 2020  
春闘方針（案）の策定を進め、2 月に開催予定の「2020 春闘総決起集会」において  
確認・意思統一することとしている。